



夏期講座スタート！(7月22日(月)～8月24日(土))

7月22日(月)から夏期講座が始まります。学校が休みの間に苦手な単元を1つでも多く克服できるよう、一緒にがんばりましょう！受験生のみなさんにとっては、勝負の夏です。この夏のがんばりが合否を左右するといっても過言ではありません。自習室も活用しながら、飛躍の夏となるよう全力で勉強しましょう！

夏期講座期間中の
開校時間 (月～金)
10:00～22:00



今月のTOPIX ～受験費用について～

文部科学省と厚生労働省が発表した2013年3月の大学卒業者の就職状況調査によると、4月1日現在の就職率は93.9%で前年度よりも0.3ポイントとわずかながら上昇しました。受験生が進むべき大学を選ぶ際には、自分が学びたいことが学べるかどうかを最も重要ですが、現実的には多くの受験生にとって学費や就職状況などの経済的な要素も考慮しなければなりません。そこで、今回は、入学検定料(受験料)、入学金、授業料などの学費について紹介します。

□受験費用

◆大学受験にかかる費用

まずは願書の取り寄せが必要となります。願書は、国立大学、私立大学ともに9月から12月に配布される場合が多いです。国立大学の願書は無料ですが、取り寄せるための郵送料または直接窓口に取りに行くための交通費がかかります。センター試験の結果によっては出願校を変更する場合もあるので、第2志望、第3志望の願書も取り寄せておきましょう。私立大学の願書は、直接大学から取り寄せる方法もありますが、大手書店で販売されている場合も多いです。通常1部800円から1000円程度で購入できます。また、私立大学の場合は、オープンキャンパスや学校説明会に参加すると無料でもらえる場合もあるので、こうした機会を大いに利用しましょう。

◆入学検定料

センター試験の検定料が18000円(3教科以上受験する場合)、国立大学の検定料が前期・後期合わせて34000円です。私立大学の検定料は大学によって異なりますが、センター試験でおおよそ18000円、個別試験方法でおおよそ35000円前後が多いです。私立大学のセンター方式は、各大学の個別試験を受ける必要がなくても、検定料はセンター試験とは別に必要となるので注意しましょう。

◇国立大学

2013年時点で国立大学は、全ての国立大学が標準額と同じ金額に入学金・授業料を設定しており、学部によらず授業料は同額となっています。公立大学の授業料はおおむね国立大学に準じますが、入学金については設置する自治体の出身かどうかで金額に差をつけている大学が多いです。なお、入学金・授業料のほかに施設費などの名目で別途費用がかかる場合も多いので、あらかじめ確認をしておきましょう。

◇私立大学

私立大学の学費は、同じ大学でも学部・学科によって異なります。通常、文系学部よりも理系学部の方が学費が高く、医学部や歯学部ではさらに高額となっています。

表1 大学の入学検定料

試験の種類	検定料	
推薦・AO入試	国立大学	約17,000円
	私立大学	約30,000円
センター試験	3教科以上	18,000円
	2教科以下	12,000円
一般入試	国立大学	約17,000円
	私立大学(個別方式)	約35,000円
	私立大学(センター方式)	約18,000円

※私立大学については、大学・学部ごとに異なる。

国立大学の初年度納付金(標準額)

単位:円

	入学金	授業料	合計
昼間部	282,000	535,800	817,800
夜間部	141,000	267,900	408,900

出典:文部科学省ホームページ

公立大学の初年度納付金(平均額、2011年入学)

単位:円

	入学料	授業料	合計	
昼間部	地域内	232,357	535,959	768,316
	地域外	399,058	535,959	935,017
夜間部	地域内	141,000	312,533	453,533
	地域外	235,000	312,533	547,533

出典:文部科学省「平成23年版学生納付金調査結果」

☆☆日々の様子や取り組みを公開中☆☆

進学塾アクシア ブログ 検索

